

まちの話 題

**感田生活館を
自治会に移管**

7月23日付で、市は感田四区自治会へ「感田生活館」を移管し、「感田四区公民館」に名称が変更となりました。今後は、地域の輪をますます広げ、自治会活動発展のために利用していくことになります。



避難所用テント寄贈

8月7日、福岡県筑豊地区タクシー協会の嘉久礼子会長が市庁舎を訪れ、避難所用テントを寄贈したことを報告しました。嘉久会長は「災害時に市民の皆さんの一助になればと思い、寄贈しました。今後も地域に貢献していきたいです」と語りました。大塚市

長は「日々、地域貢献に尽力してもらっていることに本当に感謝しています。今後ともに市民の安全・安心を守っていききたい」と感謝を述べました。



カノアラウレアーズ福岡との フレンドリータウン協定

8月22日、福岡初女子プロバレーボールチーム「カノアラウレアーズ福岡」とフレンドリータウン協定を締結しました。本協定はバレーボールアカデミーの開校等でバレーボール人口の創出やレベルの底上げを行い、スポーツを軸に市の活性化を図っていくものです。森田亜貴斗代表は「今回は協定を結んでいただきありがとうございます。バレーボール

を通じて市に貢献していきたいです」と話しました。大塚市長は「以前、本市はバレーボールのまちとして名を馳せた時代がありました。当時以上にバレーボールのまちとして全国に名が轟くように、市としてチームを応援していきます。一緒に直方を盛り上げていきましょう」と語りました。



全国道場

少年剣道大会出場

8月23日、7月27日に日本武道館で行われた「第57回全国道場少年剣道大会」へ出場した報告のため、頓野錬心館所属の3人の選手が市長を訪問しました。3人を代表して、早川颯馬さんは「小学校最後に全国大会に出場できたのは、大きな経験になりました。中学校ではさらに良い成績を出します」と話しました。大塚市長は「今後がさらに楽しみな言葉をもらいました。また良い成績をだして会えることを楽しみにしています。本当にお疲れ様でした」と伝えました。



下水道工事のお知らせ

問い合わせ…下水道課建設係 (TEL 25-2203)

市では、衛生的で快適な暮らしが送れるよう、公共下水道事業を進めており、右記の箇所下水道工事を予定しています。また、下水道工事に先立って、水道管、ガスパの切廻し工事を予定している箇所もあります。工事場所周辺においては、通行止め、迂回、騒音、振動等、皆様の日常生活に何かとご不便、ご迷惑をおかけすることがありますが、ご理解とご協力をお願いします。



感田地内



工事に伴う交通規制のお知らせ

[問い合わせ] 直方県土整備事務所道路建設課 (TEL 22-5613)

次の区間で工事を行います。迂回・騒音・振動等ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。詳細な工事時期は現場周辺の工事看板でお知らせします。早期に工事完了した場合は、随時交通規制を解除します。



規 制	車両通行禁止 (終日)
期 間	10月上旬～ 12月下旬
路線名	主要地方道中間宮田線
種 別	道路改良工事



身近に感じて! SDGs

のおがたSDGs推進パートナーをご紹介!!

SDGs(持続可能な開発目標)は、2030年に向けてより良い社会を作っていくために、国連で採択された世界共通の目標です。目標は、17のゴールとして、わかりやすくアイコンで表わされています。

このコーナーでは、SDGsに取り組み、新たに市の『チーム』に加わった『パートナー』と『目指すゴール』をご紹介します。

Vol.009 大英産業株式会社(北九州市)
業種:不動産 代表取締役:一瀬 謙二

HP▶



北九州市八幡西区に本社を持つ総合住宅不動産会社です。2019年に福岡証券取引所に上場し、人口減少・少子高齢化・空地空家の増加などの社会課題に対して、住宅を通じて住まう方々の物心両面の充足に寄与したいと考えています。



～あなたらしさの、そばに。～

建築端材を大工がカットし、障がい者支援施設で研磨、資材を大工と共に幼稚園に持込み椅子作りを体験しています。大学生がイベントの運営をフォローし、その模様撮影するなど、関わる人々がみなWinになることを目指す「北九州みらいキッズプロジェクト～出張ども大工編」を実施しています。今年は本市でもプロジェクトを実施し、市内を含む企業からの協賛によって、園庭に端材を活用した「サステナハウス」の提供も行いました。この取り組みは協賛企業のSDGs活動の幅を広げることに寄与しています。



寄贈されたサステナハウス(清光寺幼稚園)